

定期学習会の記録

2007/10/13 尾間木公民館

[参加者] 郡司 小松原 安藤 三浦 金子 福島 河野 大内

■エベレスト登山家、野口さんの話（英語の教科書より）（小松原）

- ・野口さんが目にしたゴミは、ひらがなや漢字が書かれた酸素ボンベ、壊れたテント、インスタントカップヌードル。
- ・ヨーロッパの登山家「日本は経済的に最も良い国の一つかもしれない。しかし、環境問題のこととなると、最も悪い国の一つだ。」
- ・野口さんは、エベレスト清掃隊を作り、2000年は1.5トンのゴミを集めた。
- ・ゴミで有名になっていた富士山の清掃も計画。
- ・「富士山は、世界で唯一、山頂に自動販売機がある。」
- ・スローガン「富士山を変えることが出来るならば、日本を変えることができる。」
- ・ネパールのシェルパ支援の基金設立。
- ・「私たちはシェルパ達のために、社会的な責任をとらなければならない。私たちは自然を見捨てることはできない。私たちは、人々を見捨てることはできない。」

○「富士山を変えることが出来るならば、日本を変えることができる。」

(If we can change Mt.Fuji, we can change Japan.)

- ・自然を守ろうとする気持ちを持つことによって、ゴミを捨てなくなって、心が豊かに成長する。
- ・言ってもわからない人には、どうしたらいいのだろう。
- ・「日本の〇〇を変える」と書いてないということは、いろいろなことを変えることができるのではないか。登山客の目も変わり、山がきれいだなと思うようになってくるとか、日本人の心を変えるとか。最終的に、富士山はきれいな山、となればいいと思う。
- ・「富士山」は一つの象徴。これをきれいに換えられるということは、ほかのものもきれいできる、世界をきれいにできる、と考えられる。
- ・富士山が変わるということは、とても大変なこと。だから、変わるときというのは、すでにほかのところも変化しているということだろう。一つ一つの積み重ね、一人一人の意識の変容が求められることだろう。
- ・人は、気づいたところから行動が起こる。
- ・「日本は経済的に最も良い国の一つかもしれない。しかし、環境問題のこととなると、最も悪い国の一つだ。」に象徴されるように、日本は自己中心的な感じがする。
- ・海の例。自然に流れてくるゴミもあるが、花火のゴミやジュースの空き缶などを捨てていく人がいる。どういう思いで捨てていくのだろうか。
- ・人間も、自然の中に生きている、共存するという考え方を持つこと。他の存在がいて、自分がいる。助け合って生きているのだということを実感することによって、山に限らず、世界平和の根っここのところにつながる心が象徴されているのではないだろうか。
- ・さまざまな技術があるが、根っこはヒューマニティ。心がない人が科学の世界にいとってしまうと、人類が滅んでしまうような研究をしてしまうような部分があって、気になっている。
- ・さまざまな開発をするなかで、人間的な考えを自分自身が持ってやらないといけない。
- ・研究者の前に、人間であれ。
- ・マスコミの人にも、マスコミの前に人間であれ、と言いたい。
- ・日本には、そういうところが抜けているような気がする。倫理観がもたれているのだ。
- ・継続して実行することが、すてきなこと。おおげさではなく、世界を変える、社会を変えることにつながっていく。

- ・1.5トンのゴミの内訳は、どのようなものだろう。→次回
- ・シェルパのための基金は、どのくらい、どこから集まった基金なのだろう。→次回
- ・人との約束、登山客を守るために、身をもって助けてくれるシェルパを、応援しているのだろう。
- ・チョモランマ清掃隊は、どこの人が、何人くらいいるのだろう。→次回

○「私たちはそれらのシェルパたちのために、社会的な責任をとらなければならない。私たちは自然を見捨てることはできない。私たちは、人々を見捨てることはできない。」

(We can't dispose of nature. we can't dispose of people.)

・「Love is action.」ということなのだろうか。評論家は増えているが、行動に移す人はなかなかいない。

- ・自分には何ができるかわからないが、現状を見に行ってみたい。
- ・本当に思っているならば、人は動く、動けてしまうのだと思う。

・自分からできる、第一歩が大切。高校のトイレが汚かったとき、当番ではないが、だまって掃除をした少女の話。自分がやったということより、汚いところがきれいになっているというのに誰かが気づいてくれといいと思う、その心と行動力がすばらしい。

・エリートとは、人のためにがんばれる人、弱い人のためにリーダーシップがとれて頑張れる人、そのために努力を惜しまず、自分のしたことを誇らない。自分のためではなく、人に言うのではなく、人の気づかないところで何かができる人のことを言うのだ。誰か、影で分かってくれる人が必ずいるものだ。

- ・言わなくても輝いている人って、具体的なことを言わなくてもわかるものがある。

■尾間木公民館文化祭について

- 19日(金) 13:00～ 搬入
- 20日(土)～21日(日) 展示
- 21日(日) 15:30～片付け

活動報告、支援の箱、パネル展示

■「平和のうた」より

- ・日本国憲法のうた
- ・ヒロシマの有る国で
- ・サトウキビ畑

□次回予定 11月3日(土)

- ・野口さんに関する資料の学びを深める。
 - ・1.5トンのゴミの内訳は、どのようなものだろう。→次回
 - ・チョモランマ清掃隊は、どこの人が、何人くらいいるのだろう。→次回
 - ・基金の今は、どのようになっているのだろう。
- ・子どもの権利条約と憲法についての学びを深める。
- ・お礼状書き、支援の実績の確認
- ・尾間木地区文化祭の報告
- ・ハンドインハンドの件
- ・ニュージーランド報告